



10月2日夜 市民交流センター
「塩尻ブランドの生かし方」

市民交流センターの午後7時からの日程で、2グループで話し合いを行いました。意見の一部を紹介します。

- ・以前引越してきたが、当初は何が有名か分からなかった。新しく引越してきた人に分かるようにしてほしい。
- ・転入してきた方に塩尻のよさが分かるような工夫。
- ・若い人にも分かりやすいように。
- ・奈良井宿、平沢の冬の観光の充実。
- ・奈良井宿以外の宿場のPR。
- ・ネットで塩尻ブランドが「しおじり」で検索できるように。



- ・ガイドブックに塩尻を載せてほしい。
- ・ワインで塩尻をイメージできるように。
- ・素材を生かしてきていないので、もっと発展性を。
- ・PR方法、ターゲットなど、若年層や高齢層へもPR。
- ・特産品のいいところを市民が言えるように。
- ・ファイナー巡りの際に手話通訳がなかった。手話通訳が観光に同行してもらえればありがたい。
- ・障がい者や高齢者に優しい観光イベント。
- ・塩尻は特産よりも住みやすさ、ワインだけではなく、お酒が飲めない人にもPRができるような、ブドウや漆器をPR。
- ・塩尻の認知度が上がると誇りが持てる。

10月3日夜 広丘支所
「広丘（北部圏域）のまちづくり」

広丘支所の午後7時からの日程で、2グループで話し合いを行いました。意見の一部を紹介します。

- ・公共拠点を囲むようなまちづくり（支所の所在地が分かりにくかった）。国道県道から入りやすいように。
- ・市の人口の2分の1の居住地である。
- ・多様な世代が交流できる施設。年齢層を広く、気楽に立ち寄れるスペースづくり（喫茶、ロビー）。
- ・短歌館との連携。文化・歴史・経済などと連携した拠点。
- ・広丘駅から短歌のまちへの道。文化の道があるといい。



- ・連携を持ったまちづくりを。商店街との連携。
- ・散策、買い物客など（パーク&ライドではない駐車場が必要）。
- ・駐車場の確保。
- ・高校生・子ども達が勉強する居心地のよいスペース。
- ・子どもの居場所。
- ・広いフリースペース、市民の交流の場所が必要。
- ・図書館がえんばーくのように活用できれば良い（フリースペース、勉強できるスペース、自由に使えるスペース）。
- ・現在部屋数が不足しており、クラブ活動など利用者が多く、部屋が取れない。
- ・通学路の除雪が課題。
- ・建物の周辺整備。公園、短歌館、郷原街道（歩道のでこぼこの解消）。